東雲小学校

「自ら考え判断し，自分の思いを表現できる児童の育成」
～算数科における言語活動の充実を通して～

Ⅰ　研究の内容

1　主題設定の理由

本校は，昨年度までの３年間，各教科等で言語活動の充実を図り実践してきた。特に昨年度は，国語・算数・理科・生活科・図画工作・音楽・体育・外国語活動・道徳と幅広い教科・領域で言語活動を取り入れた実践を行い交流してきた。そして，それによって，さまざまな教科における言語活動を取り入れた実践例を学ぶことができた。

そこで，本年度は，全学年が取り組むことができる算数科に教科を絞って研究を進めていきたい。教科を絞ることで，目指す子どもの姿や具体的活動内容の学年ごとの系統性に意識して研究を進めていくことができると考える。そして，算数科において「伝え合う」「話し合う」活動を充実させていくために，「話す」「聞く」「書く」「読む」といった基礎となる言語力の育成を目指したい。また，今年度も言語環境を整えるための日常的な取り組みを全職員で共有し，学校全体の言語力の向上を目指したい。

このように，本年度は特に算数科において「言語活動の充実」を目指すことで，課題解決にむけ自ら考え判断し，自分の思いを表現できる児童の育成を図りたいと考えた。

2　研究の具体的内容

（１）算数科における「言語活動の充実」に関わる学習会

資料　　峡東教育事務所　宮澤洋一　指導主事

（２）言語環境を整えるための日常的な取り組みの共有

・あいさつ

・言葉遣い（職員室等の出入り，最後まで言う，自分の思いや考えを言う　など）

・読書活動（朝読書・読み聞かせ・親子読書・アニマシオン・ブックトーク　など）

・川柳

・名文暗唱・掲示による共有

・国語辞典の活用（３年生以上）

（３）NRTの分析と結果を生かした取り組み

（４）学級集団づくり

・Q-Uの分析についての学習会（事例研究会）

講師　長尾雅裕　甲州市スクールカウンセラー

・Q-Uの分析と結果を生かした取り組み

（５）特別支援教育についての学習会　　講師 本校特別支援学級担任　名取美和教諭

（６）キャリア教育についての学習会　講師 本校キャリア教育担当　山田　浩教諭

（７）授業案の作成・検討及び授業実践

ア　研究授業

・第３学年「はしたの大きさの表し方を考えよう」　授業者　駒田　覚教諭

指導助言　峡東教育事務所　宮澤洋一　指導主事

・第６学年「およその面積を考えよう」　授業者 小宮山公仁教諭

指導助言　山梨県教育委員会義務教育課 清水宏幸　指導主事

イ　授業公開（一人一実践）

・第１学年「たしざん」　授業者　依田　史教諭

・第２学年「形をしらべよう」　授業者　小幡香織教諭

・第４学年「わり算のしかたを考えよう」　授業者　保坂　恵教諭

・第４学年理科「水のすがたとゆくえ」　授業者　渡邉尚英教諭

・第５学年「小数のわり算を考えよう」　授業者　山田　浩教諭

・第６学年「形が同じで大きさがちがう図形を調べよう」授業者　有井哲也教諭

・ひまわり学級　第３学年「はしたの大きさの表し方を考えよう」

授業者　名取美和教諭

Ⅱ　成果と課題

１　成果

・教科を算数科に絞ったことで，自分の考えを図・式・操作・言葉などで表すことやペアやグループを使って発表することなどの言語活動を，各学年の実態に応じて共通して実践することができた。

・課題解決にむけ，自ら考え判断し，自分の思いを表現できる児童の育成を目指し，他教科でも言語活動を工夫して授業に取り入れるように心がけてきた。

・川柳，名文や授業で使用した提示物の掲示，読書活動，国語辞典の活用など，日常的に言語環境を整えるように取り組んできたことで，少しずつ語彙も増えてきた。

・キャリア教育については学習会と年間指導計画の見直しを行った。６年間継続して使えるようなキャリアノートを活用していくことも検討された。

・基盤となる学級づくりをQ-Uの結果をいかして取り組むことができた。

・全職員が共通理解のもと，日常的に言語環境を整えようと努めてきた。

２　課題

・自分の考えを「書く」ことは次第にできるようになってきたが，それを友だちに「伝える」という意識がまだ弱い。継続して取り組んでいきたい。

・友だちと自分の考えを交流し合った後，教師の発問を含め，どのようにそれをつないでいくのかが今後の課題である。

Ⅲ　成果物

・研究授業，授業実践の授業案　（研究主任　保坂　恵）